

おかあさんに学び、東北復興を応援しよう!



宮城県加美郡加美町

宮城県北西部にある加美町(かみまち)は、奥羽山脈を源流とする鳴瀬川水系が集まる豊かな稲作地帯です。震災後は町内に避難所を開設し、宮城県南三陸町などから約70人を受け入れました。また全国から届く支援物資の仕分け作業の人手が足りないという宮城県南三陸町の要請を受け、グリーン・ツーリズム推進協議会が主体となり、毎日シャトルバスに希望者を乗せて10日間、支援活動を行いました。



おかあさんの宿 4 宮城県加美郡加美町

加藤 重子さん

農家民宿 花袋・天王

被災された方との間に生まれた新しい絆が、嬉しい。

内陸部の加美町の被害は停電が数日あったほどでしたが、被災地に縁のある人もない人も、多くの方が「何かできることはないか」と行動したと思います。主人と子どもは南三陸町に物資仕分けの支援に行きました。私は友達から「重ちゃんちで作れるものを持って、一緒に支援にいけない?」って誘われ、3月25日に気仙沼に行きました。500個のおにぎりを握って、大きな鍋で自家製の凍み大根煮を作り、加美産のアス

バラ菜を湯がいて食べてもらった。みんな冷めたパンやおにぎりばかり食べていたから、あったかいお汁と青野菜は、ほんっとに喜んでもらえたんです。また、加美町にできた避難所にしょっちゅう行って、たくさん差し入れをしました。そのうちにいろんな人と親しくなって。その方たちは仮設住宅に入られましたが、11月23日に「感謝の集い」で加美に来て、我が家にも泊まりにきてくれた。嬉しいですねえ。



山の麓にある里山の暮らしを体験してください。

加藤家は18代続く専業農家で、お米と約40種類の野菜(特にダイコンとウド)、さらに、そばとわさびをたくさん作っています。我が家は、その形の美しさから加美富士といわれる薬来山(やくらいさん)の麓にあり、山の恩恵を受けているのです。山の斜面地は大根やそば作りに適し、清らかな湧き水が最高のわさびを育

て、小川ではヤマメやイワナを獲ることができます。冬は薬来山からの吹き降ろしで雪が溜まる場所で、雪下野菜や、凍み大根などの保存食を作ります。花袋・天王に宿泊された方には、そんな私たちの暮らしを体験して、里山の素晴らしさを感じてほしい。主人の打つそばは自己流で18年。とっても美味しいですよ。



季節ごとにいろいろな体験ができます!

美しい田園風景に郷愁を感じる「花袋・天王」

国道からわき道に入り、鳴瀬川を渡って坂を下っていく。急に景色が変わり、まるで隠れ里が現れる。そのなかにぼつりと3軒、加藤家の旧家と新居、花袋・天王の宿がある。宿の前を小さな沢が流れ、部屋からは田んぼが一望。東南アジアのリゾートなら

「ライスビュー」といわれる贅沢なロケーション。重子さんと娘の美重さんがひっそりとした、まるで隠れ里が現れる。そのなかにぼつりと3軒、加藤家の旧家と新居、花袋・天王の宿がある。宿の前を小さな沢が流れ、部屋からは田んぼが一望。東南アジアのリゾートなら

